



(財) JKA補助事業 平成19年度事業概要

(2) 超電導技術の普及啓発・情報提供活動

ア. 超電導応用技術の普及啓発活動(国際超電導シンポジウム・超電導技術動向報告会)

「第20回国際超電導シンポジウム(ISS2007)」を平成19年11月5日～7日の3日間、つくば市つくば国際会議場で開催した。基礎から応用技術にわたる幅広い分野で、国内外の最先端の研究開発・技術開発成果が報告された。参加者は704人(国内538人、海外166人、参加国19ヶ国)、発表件数は口頭講演122件、ポスター講演392件の合計514件であり、活発な議論が行われた。さらに、10団体による超電導関連材料と製品、技術の展示会も行われ、多数の参加者に超電導製品の紹介がなされた。

また、「超電導技術動向報告会」を平成19年5月28日に都市センターホテル(東京都)で開催した。今回は「省エネ・省資源社会に向けて」と題し、各国の超電導機器研究開発動向等の基調講演2件を含めて、イットリウム系超電導線材開発の進捗、超電導変圧器・モータおよび冷凍機の開発動向、SMES開発の現状等、超電導応用機器実用化に向けた研究開発の着実な進捗状況、および超電導バルクや超電導デバイスの開発状況など11件の発表がなされた。参加者は、国内企業、研究機関、大学、報道関係者及び一般参加者を含め、約200名であった。

これらの開催状況については、電子情報誌「超電導Web21」の特集号として掲載し、国際超電導シンポジウム・超電導技術動向報告会に参加できなかった方々にも情報提供を行った。



超電導技術動向報告会 基調講演



ISS2007 展示会